



2026年2月26日

各位

会社名 株式会社エーエージェント I Gホールディングス
代表者名 代表取締役社長 一戸 敏
(コード：377A 名証メイン市場)
問合せ先 取締役専務上級執行役員 高橋 真喜子
(TEL 03-6280-7818)

2025年12月期決算 質疑応答集

2026年2月13日に開催した「マネックス証券主催 2025年12月期決算説明会」において、投資家の皆様からいただいた主な質問と回答内容について、以下の通り開示いたします。

ご理解いただきやすいよう、一部表現の変更や内容の加筆・修正を行っております。
今後も、株主・投資家の皆様への情報提供に努めてまいります。

記

- Q** 営業利益率が非常に低いと感じていますが、改善の余地についてお考えをお聞かせください。
- A** 2026年まではガバナンス強化や、システム関連の投資を進め、2027年以降から投資分の回収、本格的な利益の拡大を目指しております。
- Q** 期末に純利益の下方修正が続きましたが、2026年の業績予想は下振れ可能性の少ない、かなり堅い予想で組んでいるという認識でよろしいでしょうか。それとも、チャレンジ目標も含めた予想でしょうか。
- A** 毎年議論を重ねたうえで計画値を公表しておりますが、2026年12月期は、より着実な計画値を算出の上、公表いたしました。
- Q** 松井証券との資本業務提携の影響について教えてください。実際に取り組んでいる事例があれば、併せて伺いたいです。
- A** 年明けより、現場レベルでの人事交流を開始いたしました。現在は両社の知見を融合させるべく、実務を通じた連携強化を図っております。
- Q** 増資によるM&A資金は、早い段階で使用する予定でしょうか。発表を楽しみにしています。
- A** 調達資金はM&Aの待機資金として、積極的に進めていく考えです。
- Q** M&Aは活況かと思えます。その中でM&A総合研究所と提携されたのは素晴らしいと思えますが、同社を選んだ理由をお聞かせいただけますか。
- A** 様々なM&A関連企業とお話を重ねる中で、企業文化や風土、提携スキームなどを総合的に判断し、最も相性が良いと感じたためです。
- Q** 持株会社化したことにより、コスト負担は増加しているのでしょうか。
- A** 事業成長によりコストは増加しておりますが、持株会社化とのコストの二重構造にはなっておりません。
- Q** 2027年度の収益予想についてはどのようにお考えでしょうか。また、社長が短期的な目標とおっしゃっていた純利益10億円は、どの時期を目途に考えておられるのでしょうか。
- A** 時期についての明言は難しいですが、高レバレッジ体質への転換で、早期実現を目指したいと考えております。
- Q** 海外での事業展開についてはいかがでしょうか。特に、アメリカでの事業環境はどのようにお考えですか。

- A 国内同様、様々な案件がございます。2年前に大手保険ブローカーとの提携を発表いたしました。類似の案件の検討を現在進めております。引き続きアメリカの保険市場は、サイズが大きいこともあり期待できる事業環境であると認識しております。
- Q アメリカ以外への海外進出についてはいかがでしょうか。
- A 特に GDP が高い国は金融・保険大国と認識しており、積極的に検討を進めております。
- Q ファイナンシャル・ジャパンの代表者変更について、ご説明いただけますか。
- A 保険代理店業界を取り巻く環境が非常に厳しいこともあり、営業現場の管理やガバナンスを強化するといった観点から、体制を変更・拡充いたしました。
- Q 東証への上場についてはどのようにお考えですか。上場を検討する条件や具体的なイメージはありますか。
- A 準備は進めておりますが、まずは時価総額を十分に高め、万全を期した状態での上場を考えております。
- Q 株主優待や配当などの株主還元は、利益水準がどの程度になった時に検討・具体化されるのでしょうか。
- A 具体的な基準についてお答えすることは難しいですが、社内での検討を進めております。
- Q 出来高が非常に少ないように思います。もう少し出来高が増えないと、新しい投資家が入りにくいのではないのでしょうか。どのようにお考えでしょうか。
- A 流動性の向上とともに取り組みを進めてまいります。
- Q 某外資系保険会社による一連の不祥事報道があった後、貴社でも調査や確認作業などを行ったことはありますか。
- A 生保が中心のファイナンシャル・ジャパンにおいては当該企業の出身者もいたため、買収前の段階で全件調査を行った結果を確認しております。
- Q 某外資系保険会社による一連の事案について、どのようにお考えでしょうか。
- A 当社は創業以来 30 年、保険業界のプロフェッショナルとして職業地位の向上に努めてまいりました。しかし、このような不祥事が相次ぐことで、業界全体として職業地位がなかなか向上しにくい状況にあると感じています。当社ではコンプライアンスを再徹底し、ガバナンス強化に努めるとともに、金融庁などのヒアリングにおいても透明性をもって対応しております。また、業界全体でも今後このような事態が発生しないよう尽力してまいります。
- Q 今後の IR イベントの予定を教えてください。名証 IR や投資フェアへの参加なども含めてお願いします。
- A イベントへの参加は決まり次第、当社 IR サイトよりお知らせいたします。名証の IR EXPO に昨年参加いたしましたが、今後も定期的な出展を検討し、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションの場として活用してまいりたいと考えております。
- Q 株主総会後に株主向けの何か楽しいイベントを行う予定はありますか。
- A まずは着実な利益の積み上げにより、株主還元ができる体制を整えたいと考えております。
- Q 2025 年度の社会貢献としての寄付は、純利益の 1%程度の額を実施したのでしょうか。またはこれから行う予定でしょうか。
- A これから実施の予定です。社会貢献への想いを表現する一手段として、今後も実施してまいります。
- Q ホームページへの役員顔写真掲載については、いつ頃をお考えでしょうか。3月27日の株主総会後でしょうか。
- A 引き続き検討してまいります。